

研究種目： 基盤研究（C）
研究期間： 2007 ～ 2010
課題番号： 19520203
研究課題名（和文）
アメリカ演劇の理論と実践におけるリベラリズムと民主主義の問題：冷戦以降の再検討
研究課題名（英文） Theory and Practice of Liberalism and Democracy in American Theatre: Reconsidering the Cold War Cultural Politics
研究代表者 戸谷 陽子（TOTANI YOKO）
お茶の水女子大学・大学院人間文化創成科学研究科・准教授
研究者番号： 30261093

研究代表者の専門分野： 人文学

科研費の分科・細目： 文学・ヨーロッパ語系文学

キーワード： アメリカ演劇、パフォーマン研究、舞台芸術、アーサー・ミラー、テネシー・ウィリアムズ、リベラリズム、冷戦期以降の演劇

1. 研究計画の概要

アメリカ演劇におけるリベラリズムと民主主義の概念の形成とその表象を、とくに冷戦期以降の国家体制が直接・間接的に演劇に与えた文脈を意識しつつ検証・再検討し、冷戦を経て20世紀末に顕在化したグローバル化の問題と文化・表象芸術の関わりにおいて、舞台芸術論および現代アメリカ演劇史を見直すことにより、その固有の問題と相互の関り合いを考察し、20世紀の歴史的な文脈の中に位置づけ、今世紀の展開を標榜するための学術的指標を提示する。

2. 研究の進捗状況

本研究は具体的な作品・作家および舞台芸術環境の検証と、理論的な言説の把握という二つの視点から、冷戦期以降のアメリカ国家の政治・経済政策と演劇表象の関係をとらえなおす作業を行うこととし、4年間に、(1)「政治的リベラリズムの演劇：マッカーシズムとアメリカニズム」(2)「文化的リベラリズムの芸術家たち：前衛演劇とマイノリティ演劇」(3)「民主主義と共同体の演劇：グローバルとローカル」の個別テーマを立て、1年ごとに各テーマを中心に調査・研究を行い、最終年度に「冷戦期以降のアメリカ演劇：リベラリズムの行方」(いずれも仮題)として冷戦期以降のアメリカ舞台芸術における意識の分布図の変化を考察、総括する計画を立てた。

(1)平成19(研究初年)度：冷戦と文化統制、封じ込めの政策と演劇との関係についての基本文献、具体的な資料となる文献を中心

に、冷戦に関する文献を収集・通読。基礎研究として、19世紀以降のアメリカにおいて性の政治学や権力の力学が資本主義と結びつけられて構成・布置される過程およびリベラリズムという概念の形成過程を確認しつつ、現在のグローバル資本主義下におけるリベラリズムの諸言説を演劇という枠組みにおいて検証する作業を行った。また、アーサー・ミラー作品を中心に戦後冷戦期の芸術諸領域で促進されたジェンダー表象を中心に研究。

(2)平成20年度：いわゆる非政治的・美学的・前衛的とされるアーティストやマイノリティ演劇を標榜するアーティスト(ウィリアムズ、オルビー、前衛演劇等)の軌跡を辿り、彼らが推進した美学的側面におけるリベラリズムを検証。

(3)平成21年度：これまでの成果を学会のシンポジウムで発表し、また20世紀パフォーマンスアートの歴史とジェンダー表象を検証する原稿を執筆した(入稿済)。冷戦終結後および2001年同時多発テロ、イラク戦争後の演劇およびパフォーマンスを検証する計画は本年度に補強する予定である。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展しているが、個別テーマの研究順序を若干変更した。

4. 今後の研究の推進方策

上記(3)の個別テーマについては、昨年度スケジュール的に現地検証(インタビュー等)が十分に行えなかったため、本年度に補強することとし、併せて総括することとする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① 戸谷陽子、『道具返し』—バジル・ツイストの実験 (『舞台芸術』京都造形芸術大学研究誌)、査読無、15巻、2009、144-151

[学会発表] (計5件)

① Yoko Totani, 'Misperforming the Avant-garde?' P*S*i # 15 (Performance International #15), 2009年6月26日, University of Zagreb, Zagreb, Croatia

② 戸谷陽子、「Tennessee Williams の政治性—セクシュアリティの表象を中心に」シンポジウム第八部門『テネシー・ウィリアムズのアメリカ』、日本英文学会第81回大会、2009年5月31日、東京大学駒場キャンパス

③ Yoko Totani, 'Dogugaeshi: Basil Twist's Experiments with the Traditional Japanese Puppet Theatre Technique' 2008 Comparative Drama Conference, 2008年3月27日, Radison Hotel, Westside, CA, USA

④ 戸谷陽子、「冷戦期の演劇：ミラー、ウィリアムズの描くセクシュアリティの奇妙なねじれ」シンポジウム『冷戦下の表象文化空間再考—国家・ジェンダー・イデオロギー』、アメリカ文学会東京支部、2007年6月31日、慶應義塾大学三田校舎